

作文集

「イネとコンニャクイモを育てて」

郡山市立白岩小学校 五年 渡部 友美

私は、農業試験場に行くまえ、イネは水のこうかん、草むしり、日光にあてる、ということぐらいしか知らなくて、育てはじめると、虫が出ることや、かれてしまう病気があることも知ったし、水のかんりは、ときどき水を入れなくておくと、根がのびることも分かりました。そういうことが分かると、植えている時は、少し大変そうだなあと思っていなかったけど、かれそうになって不安になったりして、しっかりがんばって育てなくちゃと思い、植えた時は、土と水をまぜるとき、なんかさわるのがやだなあと思っていたけど、いやだと思わなくなりました。夏休みに入ると、イネがすごくのびて、これを自分で育てたと思うと、うれしくなってきました。夏休みが終わると、たくさんの雨がふったり、台風がきたりして、イネがたおれて、心配したけど、イネが折れたりしないで、すごく安心しました。そして、イネをかって、もみがらをとるとき、機械でやるとすぐなのに、何日もかかってやっていると、昔の人たちの気持ちがすごく分かって、苦労してるなあとおもいました。

コンニャクイモは、ぜんぜん見たことがないので、すごく楽しみで、土にイモを入れるときは、大変そうだなあという気持ちはありませんでした。でも、実際に育ててみると、雨の時にあたらないうようにしたり、土の上にわらをひいたりして、大忙しで、コンニャクイモも、けっこう大変だなあと思いました。そして、一番かなしいことは、コンニャクイモがおられてしまったことで、私ではなかったけど、今まで大切に育ててきたのに、苦労したのに、かんたんにおられてしまって、私はすごくゆるせなくて、おられてしまった人がすごくかわいそうでした。植物を育てている人は、自分の育てたものがおれるとこんなにくやしいんだとおもいました。

イネでもコンニャクでも、育てるのが大変で、かんたんに育つ植物はないということが勉強になりました。

最後に、お米とコンニャクを食べるとき、コンニャクは、作るのに、最初のイモみがきで、けっこう大変だと思いました。ぜんぶがはじめてのことで、失敗しないようにと思いながらやりました。とくに、イネのだっこくは、機械でやるとすぐなのに、自分たちでビンなどを使ってやったので、とても苦労しました。

お米をたくのは休みの日のお昼を作るような感じで、かんたんにできました。コンニャクもごはんも、売っているのよりは、見た目はよくなかったけど、今までの苦労を思うと、とてもおいしく感じました。特にコンニャクは今まで食べていたものとは比べものにならないくらいおいしかったです。